



2012年6月7日

 住友商事マシネックス株式会社

ソーシャルメディア分析サービス『Sparkrawl』の販売を開始

Twitter、Facebook に代表されるソーシャルメディアは現在も利用者が急増しており、2014年には利用者が国内で5,000万人を超えると予測されています。この爆発的な普及には、通信インフラの高速・広域化、スマートフォンの急速な普及による利便性の向上とあわせ、震災後の社会不安に対して人と人とのつながり、絆の大切さが改めて見直されている背景もあります。

ソーシャルメディア上で行き交う情報は「ビッグデータ」と呼ばれる膨大な量の情報であり、その中から有益・有効な情報を選別する事は容易ではありません。住友商事マシネックス株式会社（本社：東京都中央区 社長：那須雄次）が6月より販売開始するソーシャルメディア分析サービス『Sparkrawl』（以下、「本サービス」）は、株式会社Lafla（本社：福岡市 代表取締役：宥免達憲氏）が実用化した技術をもとに製品化したサービスで、キーワードを選択する事により、大量な情報の中から関連性のある情報だけを収集・分析し、情報を分かりやすく可視化するサービスです。

「言葉のつながり」を表示するためのユニークな技術「MINDEX(R)」は、九州大学情報基盤研究開発センターの廣川佐千男教授が開発した技術をLaflaが実用化したものです。指定したキーワードとの関連性を出現頻度に応じて可視化し、関連性の強い言葉を抽出するとともに、想像もつかない意外な関連性の発見により、新たな「気づき」を得る事も可能となります。

また、発言内容がポジティブ(肯定的)かネガティブ(否定的)かの分析をするポジネガ分析や、発言の文体(要望、問いかけ等)を分析する文体分析の技術は、広島市立大学大学院情報科学研究科 言語音声メディア工学研究室の難波英嗣准教授の研究成果を応用したもので、『Sparkrawl』は大学発の技術を積極的に実用化し生まれたサービスです。

本サービスのターゲット市場は、製造業、コールセンター、各種メディア、自治体、小売業と多岐にわたり、自社製品の評判や業界トレンドの調査、接客サービスの向上等、ソーシャルメディア利用者が日々発信する生の声を収集し有効利用したいと考えるユーザーに向けて広く展開していきます。

また本サービスは基本構成30キーワードから利用でき、クラウドを利用する事で従来サービスと比較して低コストでの提供を実現しました。これからソーシャルメディアの有効活用をお考えのユーザーはもとより、すでにソーシャルメディアの活用をされているユーザーでも、新たな分析手法としての導入をお奨め致します。

◆本サービスの問い合わせ先

住友商事マシネックス株式会社

情通電子&生活・食品システム本部

東京 ICT ソリューション部 UC ソリューションチーム

TEL : 03-5560-7319

◆ただ今 1 か月の無料トライアルサービス実施中

URL : <http://www.sparkrawl.com>

以上